



でもわかる!

森林GIS入門

ArcView版基礎編

その3

シェイプファイルの操作2



早速前回からの続きです。プロジェクトファイルを開いて、shpを表示します。



小班.shpをアクティブにし、「テーブルを開く」ボタンをクリックして下さい。



みなさん初めまして。「こみぼ」って言いまして、ドジですが、よろしくお願ひします。

皆さん、こんにちわ「かなめ」です。今回からアシスタントをしてくれる「こみぼちゃん」です。よろしくね♪

Shape	Area	経度	緯度	小班番号	Rinsyo_id	No
Polygon	304049.99974746	23	206	02	0	23206020
Polygon	145199.29480457	23	207	42	0	23207420
Polygon	121499.34695168	23	211	11	0	23211110
Polygon	27970.36567603	23	206	54	0	23206540
Polygon	58168.96877821	23	206	43	0	23206430
Polygon	6450.52224358	23	207	43	0	23207430
Polygon	64159.38836855	23	206	46	0	23206460
Polygon	69916.42545593	23	206	53	0	23206530
Polygon	38670.42761191	23	208	01	0	23208010
Polygon	47993.67162258	23	206	57	0	23206570
Polygon	251236.41239232	23	227	56	0	23227560
Polygon	8015.79667763	23	227	08	0	23227080
Polygon	7115.75102129	23	207	57	0	23207570
Polygon	155170.94219906	23	210	05	0	23210050
Polygon	69870.02444572	23	206	41	0	23206410
Polygon	152645.67036003	23	206	44	0	23206440
Polygon	55722.17369366	23	310	37	0	23310370

この例では、詳しい小班の内容がデータにありませんね。これでは、情報を色分けして表示することが出来ません。

属性テーブルが表示されましたね。それぞれのポリゴンには個々にデータが付いていますよ。



結合できるデータは、SHPファイルと同じデータを持つレコードのみが結合できます。

同じデータを持つレコード同士だけが、結合されるよ★



テーブル→追加から必要なデータを追加します。追加できるデータは、DBFファイルのみです。エクセルなどで作成したデータは、DBFファイルに変換してから追加しましょう。

